

今月号の主な内容

第44回伊是名村戦没者慰霊祭
中体連で5度目の優勝！

第14回いぜん尚円王まつりプログラム
人間国宝 西江喜春 郷かえり公演

優勝旗13年ぶりに海を渡る!!



いぜん

広報
IZENA



伊是名村イメージキャラクター

尚円王®

伊是名 仲田 諸見内花 勢理客

	男	女	計	先月比
人口	162	157	319	△2
世帯数	207	213	420	△3
	256	184	440	△5
	97	83	180	△1
	104	99	203	△1
	826人	736人	1,562人	△1
	82	86	793	△1

村の人口【計 1,562人】平成25年5月3日現在

平成25年
No.509

7

村のホームページ

<http://vil.izena.okinawa.jp>



歴史の島 自然の宝庫 ハブのいない伊是名島

第44回伊是名村戦没者慰霊祭

終戦から68年となる6月23日慰霊の日に、村内において先の大戦で戦没された御霊のご冥福と世界の恒久平和を祈念するため、戦没者慰霊祭が伊是名村慰霊之塔で実施されました。

式典のなかで前田村長は、「伊是名村においても軍人、軍属、一般人433名の尊い命が失われ、この慰霊之塔に刻銘されています。このような歴史的事実を厳粛に受け止め、再び戦争の惨禍が起きることのない社会の構築に努めることが現代を生きる私たちの責務だと考えます。戦後68年を経て、今なお変わることのない戦没者御遺族各位の深い悲しみに対し、心から

ご同情を申し上げますと共にご多幸を心からお祈り申し上げます。」と、親族を沖縄戦で亡くされた自身の想いと共に式辞を述べられました。

引き続き、伊是名村議会議長の追悼のことば(代読：副議長 前田清)が読み上げられた後、老人クラブ連合会会長・宮城守、小中学校児童生徒代表による献花が行われました。献花終了後に小学校児童代表による「平和の詩」、中学校生徒代表による「受け継ぐ、命のバトン」の詩がそれぞれ朗読されました。最後に、参列者全員が焼香を行い戦没者へそれぞれの想いをささげました。



参列者全員が焼香を行った



小学校の児童代表

受け継ぐ 命のバトン

創作…伊是名中学校六十六期生

青い空、緑の森、透きとおった青い海
笑顔が絶えないこの島、この沖縄は
六十八年前、戦場だった

ドーン！ドッカン

大きな音と鉄の雨が沖縄を襲った
黒い空、燃える山、血に染まった地面
みんなが恐怖におびえ
犠牲になっていったあの日
幼い子でさえ、容赦なく
殺されていった
人と人が傷つけあい
殺し合った、この現実
戦場は容赦なく
人々の命をつぶった

終戦から六十八年が経過した
しかし、戦争を体験したおじいちゃんや
おばあちゃんや心の傷はいまだに消えない
戦争はまだ続いている
今でも世界のどこかで
戦争が起きている

人間は変わらないのか
人間は戦争を引き起こすために
産まれてきたのか
戦争からは何も生まれ
戦争は人の心から生まれる

「ドカン」「キヤー」「にげろ」
この叫び声は聞きたくない
聞かせたくない
でも、私たちの中から

戦争、平和への意識が薄れつつある
そのためにできることはなんだろう
同じ過ちを繰り返さないために
私たちが戦争の恐怖を知り、
共に考え、助けあわなければいけない
もう二度とおこさない
受け継いだ命のバトン
受け継いだ平和の願い

過去は変えられない
でも、未来は変えられる
未来を変えるのは私たち
変えよう

六十八年前の赤色から
希望という名の輝く未来の色へ
つなごう
みんなの想いと
平和の意志を



中学校の生徒代表

村の一大事業が始動

老朽化したJA伊是名支店製糖工場は、恒常化する修繕費用や機械器具等の更新により毎年多大な経費を投じている。しかしながら、心臓部である圧搾設備やボイラー設備は、いつ停止してもおかしくない状況であり、万が一、停止した場合には、農家が被る損失は計り知れないものがある。

村では、このような不安を取り除くために製糖工場の新規建設を事業化し、取り組んでおります。ここに、伊是名製糖工場新規建設に関する事業の進捗状況(進み具合)をお知らせいたします。

強い農業づくり交付金事業	総事業費	5,237,312,000円
伊是名製糖工場実施設計業務	契約済	68,250,000円
伊是名製糖工場機械設備工事	契約済	3,507,000,000円

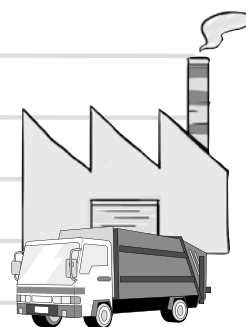
今後は、建築工事と施工管理業務の発注を予定しており、平成26年3月完成を目指して取り組んで参ります。
さとうきびの増産対策によりお願いします。



消防・ごみ焼却施設を見学しよう



伊是名小学校4年生が社会科授業の一環として、6月6日に消防施設、6月21日にごみ処理施設を見学した。ごみ処理施設はほとんどの児童が初めて見る施設であったが、施設係員の問題にも答え、質問時には専門用語も出るなど、係員を驚かせるくらい事前に学習してきたようです。その後係員が施設を案内すると、説明内容をノートに記入し興味深く施設を調査していた。



消防車庫前で説明を受ける児童



ごみ焼却施設モニターに釘付け

中体連でサッカー部 5度目の優勝!

第40回国頭地区中学校夏季総合体育大会(サッカー競技 6月8日、9日)で優勝した伊是名中学校サッカー部が10日、“凱旋”帰島しました。優勝旗を誇らしげに持ち仲田港に降り立った選手たちは、横断幕を準備し拍手で出迎えた保護者の歓喜に包まれました。

決勝戦において、伊是名中学校は名護中学校と対戦し、1対1の同点でPK戦となり、5対4と激戦の末に勝利し、13年ぶり5回目の優勝を果たしました。

サッカー部キャプテンの仲田彰君は「とても嬉しい。みんなが最後まで諦めなかったのが良かった。県大会の目標ベスト4に向かって、切り替えて頑張っていきたい。」と力強く話し、気持ちは既に県大会へと向かっています。



選手団を出迎えるPTA関係者



役場において結果報告をする仲田彰キャプテン



選手全員で決めポーズ!!

監督の小路教諭は「アクシデントがいろいろある中、優勝した島の子どもたちの底力を感じました。県大会では国頭の代表として、恥ずかしくない試合をしたいです。」と気を引き締めていました。

中体連に参加した選手たちは、後日13日に前田村長のもとを訪れ、結果の報告と県大会へ向けての抱負を述べておりました。翌日には村内パレードも行われ、村民が選手たち功績を称賛しました。県大会での健闘が期待されます。

男子ソフトテニス部も県大会へ

中体連には男女ソフトテニス部と女子バレー部も参加し、ソフトテニス男子が5位入賞を果たし県大会への切符を手に入れています。



ソフトテニス部

島の暦 7・8 月上旬の行事予定

- 7/10 水・保育所がんじゅうふれあい交流
- 12 金・西江喜春 郷かえり公演
- 19 金・1学期終業式
- 22 月・勢理客区ウンナー(6月ウマチー)
- 27 土・仲田区ウンナー
- 8/ 1 木・諸見区ウンナー
- 3 土・伊是名区ウンナー
- 10 土・第14回いげな尚円王まつり(一日目)
- 11 日・第14回いげな尚円王まつり(二日目)

我が家の
ニューフェイスです。
ようこそね

伊禮 いれい
愛華 まなか
(次女)

父・尚吾/母・汐里

平成 25年 6月14日生

父・武三/母・千賀子

平田 ひらた
紗希 さき
(次女)

平成 25年 6月3日生



6月11日、伊是名村郷友会主催「第2回伊是名村郷友会ふるさと支援資金造成チャリティーゴルフ大会」が、晴天に恵まれたなか沖縄カントリークラブで開催されました。人材育成資金造成のために285名の方々が参加し、大会は成功裏に終了しました。

大会終了後に

“これもひとえに、皆様方の金品のご提供、ご協力のお陰であります。郷友会役員並びに実行委員会一同、かさねがさねお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様からご協力頂きました浄財は、当日会場にて、前田政義村長に100万円の目録を贈呈しました。その運用

については、伊是名村教育委員会に事務局を置く「伊是名島スポーツ・文化・芸能活動支援協会」が、次代を担う島の児童生徒及び村民のスポーツや文化芸能活動の向上のために活用されることになります。

今後も島の発展と郷友会活動のため役員一同諸事業を展開していきますので、皆様方のさらなるご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げ、各位の繁栄を祈念しお礼といたします”

と、大会実行委員長からコメントがよせられました。



郷友会長から前田村長へ目録の贈呈



始球式の模様

支援金の交付実行！

郷友会チャリティーゴルフ大会終了後の6月17日、「伊是名島スポーツ・文化・芸能活動支援協会」（会長 仲田允碩 教育長）から伊是名中学校（金城一宏 校長）へ支援金が贈呈されました。中学校は、先日の国頭地区の中体連で好成績をあげたばかりで、今後の資金活用でさらなる活躍の助成につながれることが期待されます。

支援金は同協会において、これからも各活動団体への交付を行っていく予定です。



支援金の一部が交付されました

伊是名村・伊平屋村老人クラブ交流 グラウンドゴルフ大会

伊是名村老人クラブと伊平屋村老人クラブの交流グラウンドゴルフ大会が、6月25日（火）に村臨海ふれあい公園グラウンドで行われました。両村総勢70人余が参加し、炎天下でも暑さを忘れるほどの盛り上がりで、プレーを楽しんでいました。

グラウンドゴルフ終了後は、村産業支援センターで懇親会が行われカラオケや、三線、踊りなどで両村の親睦を深めていました。



懇親会は歌と踊りで盛り上がりました！



先に入れましょうね～

お知らせ

福祉の仕事の総合相談

名護市社会福祉協議会には、名護市福祉人材バンクが設置されており、福祉の仕事に関する相談を行っております。

北部地域の方々にご利用いただいておりますので、興味のある方はお気軽にご来所下さい。

日 時	月曜日～金曜日（祝日除く） 午前8時30分～午後5時15分
内 容	求人、求職、資格取得の方法等の相談
料 金	無料



問い合わせ先 名護市福祉人材バンク TEL 0980-53-4142 担当：上間・佐藤

お知らせ

労働安全衛生法に基づく免許試験のご案内

本年度は、次の日程により実施されます。

試 験 日 平成25年10月27日（日）

試験の種類	試験会場	受験申請書提出先
第一種衛生管理者 第二種衛生管理者 潜水士	沖縄国際大学	(一社)沖縄県労働基準協会 電話 098-868-2826
一級ボイラー技士	沖縄国際大学	(一社)日本ボイラ協会 沖縄県支部 電話 098-878-2441
二級ボイラー技士 ボイラー整備士	沖縄都ホテル	
クレーン・デリック運転士（クレーン限定） 移動式クレーン運転士	沖縄国際大学	(一社)日本クレーン協会 沖縄県支部 電話 098-878-2433
林業架線作業主任者	沖縄国際大学	林業・木材製造業労働災害防止協会 沖縄県支部 電話 098-868-3656
揚貨装置運転士	沖縄国際大学	湾港貨物運送事業労働災害防止協会 沖縄県支部 電話 098-868-5421

お知らせ

2013年県産品奨励月間のお知らせ

「しまんちゅの 心つなげる 県産品」

7月は県産品奨励月間です。

県では、県産品の使用奨励と需要の創出による景気の維持、拡大を図り、経済の活性化を促進するため、産業界・消費者・行政等全県民と一体となって、県産品奨励運動を展開しています。

今年度は、県産品のすばらしさをPRするため、『しまんちゅの 心つなげる 県産品』の標語のもと県産品の使用奨励に関する広報キャンペーンや各種事業を実施してまいります。

皆様には、本月間を契機に、今一度県産品の良さを再認識され、これまで以上に愛用していただくようお願い申し上げます。

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先
 沖縄県商工労働部ものづくり振興課 TEL 098-866-2337 FAX 098-866-2447
 （公 社） 沖 縄 県 工 業 連 合 会 TEL 098-859-6191 FAX 098-859-6139

お知らせ

青い羽根募金について

毎年、「海の日」を中心に7月1日から8月31日までの2ヶ月間を青い羽根募金強調月間として運動を展開しています。

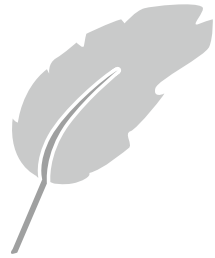
この募金は、沿岸海域において、船舶海難、磯釣り・海水浴等での海浜事故が発生した際の人命救助、及びその訓練、機材の購入等に活用されています。村民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

◎募金の振込先

金融機関：郵便局

口座番号：01780-5-46048

口座名義：公益社団法人琉球水難救済会



募金・問い合わせ先 社団法人琉球水難救済会 TEL 098-868-5940

お知らせ

平成25年夏の交通安全県民運動 平成25年7月10日(水)～7月19日(金)

守ろう ルールとマナー 明るい未来

【運動の重点】

- ◆二輪車の交通事故防止(特に、若年者を含めたマナーアップの推進)
- ◆子どもと高齢者の交通事故防止(特に、歩行者事故の防止)
- ◆飲酒運転の根絶

運転者は

★運転するなら酒を飲まない

★酒を飲んだら運転しない

家庭・地域では

★運転する人に酒をすすめない

★酒を飲んだ人に運転させない



“飲酒運転四ない運動”を地域ぐるみで徹底しましょう”

お知らせ

第14回いぜな尚円王まつりプログラム8月10日(土)・11日(日)開催

8月10日(土曜日)

時間	イベント	場所
8:30～	安全祈願	みほそ所
8:30～	グラウンドゴルフ大会	臨海公園グラウンド
9:00～	沖釣り大会	仲田サンテン港
9:00～	少年サッカー大会	臨海公園グラウンド
9:00～	スカイスポーツ体験	渡地の海岸

時間	イベント	場所
18:00～	あい保育園カンガエイサー隊(名護市)	臨海公園
18:20～	大道芸人 公演	屋外ステージ
18:40～	表彰式(沖釣り大会、サッカー大会)	
19:00～	主催者あいさつ	
19:10～	第1回抽選会	
19:30～	仲里節(野村流伊是名支部)	
19:50～	伊平屋村青年団エイサー	
20:20～	うむいライブ	
21:10～	第2回抽選会	
21:30～	打ち上げ花火・レーザーショー	

8月11日(日曜日)

時間	イベント	場所
9:00～	スカイスポーツ体験	渡地の海岸
9:30～	職域ハーリー大会	仲田サンテン港

時間	イベント	場所
18:00～	伊是名村立保育所遊戯	臨海公園
18:15～	琉神マブヤーキャラクターショー	屋外ステージ
19:00～	第1回抽選会	
19:20～	表彰式(ハーリー大会)	
19:30～	伊是名村郷友会長あいさつ	
19:40～	いぜな尚円太鼓	
20:10～	職場対抗のど自慢大会	
20:50～	神谷幸一民謡ショー	
21:30～	第2回抽選会	
21:50～	打ち上げ花火・レーザーショー	

プログラムは都合により変更になる場合があります。

問い合わせ先 いぜな尚円王まつり実行委員会(伊是名村観光振興課内) TEL 45-2534

演 目

幕開 斉唱

1. かぎやで風 2. 長伊平屋節 3. 世栄節
琉球古典音楽 安富祖流絃聲会・西江喜春研究所
琉球古典音楽 野村流音楽協会・伊是名支部
伊是名郷友芸能協会・舞踊部会 / 琉球箏曲興陽会

第一部 組踊「銘苅子（羽衣）」

地謡指導 / 国指定無形文化財「組踊音楽歌三線」
保持者・西江喜春
地 謡 / 西江喜春研究所
立方指導 / 国指定無形文化財「組踊総合指定」
保持者・親泊久玄
立 方 / 親扇会

第二部 独唱・舞踊

※西江喜春先生独唱

舞踊六題

1. 稲まつん 2. 上り口説 3. みやらび 4. 仲里節
5. 糸満姉小 6. マミドーマ・稲シリ
伊是名郷友芸能協会・舞踊部会

日時：2013年7月12日(金)

午後7時開演 入場料：1,000円

場所：伊是名村産業支援センター

主催：いぜな尚円王まつり実行委員会

後援：伊是名村・伊是名村教育委員会・伊是名村郷友会・伊是名郷友芸能協会
お問い合わせ / 伊是名郷友芸能協会 (TEL.090-4999-2203 東江)
伊是名村観光振興課 (TEL.098045-2534)



伊是名島初公演

西江喜春組踊公演

人間国宝

国指定重要無形文化財
組踊音楽歌三線保持者(各個人認定)

いぜな尚円王まつり伝統文化交流事業

西江喜春 (にしえきしゅん)

沖縄県伊平屋村生まれ。1963年に安富祖流の故・宮里春行氏に入門し琉球古典音楽を学ぶ。県指定無形文化財では96年に「沖縄伝統舞踊」保持者、99年に「沖縄伝統音楽安富祖流」保持者に認定。国指定重要無形文化財(総合認定)では2001年に「組踊」、09年に「琉球舞踊」の保持者となった。沖縄県立芸術大学の教授も務め若手の育成にも貢献。2008年から伝統組踊保存会理事、11年に国指定重要無形文化財「組踊音楽歌三線」(各個人認定)保持者＝人間国宝に認定。



勢理客区最年長おばあちゃんも宴に参加!



6月16日に勢理客区、6月23日に諸見区でそれぞれ区民の日があり、集落の人々が集まって交流を深めようと様々な催しがありました。

諸見区では村内視察、バーベキューなどが、勢理客区では交流ゲートボール行われました。勢理客区では最年長95歳のおばあちゃんも参加して、ちびっ子や若者達と楽しいひとときを送っていました。



始めるからみんな並んで〜



ユッカヌヒー

6月12日、毎年恒例となっている旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に、村内においても行事が行われました。各集落の港の拝所では、漁業関係者が一年間の豊漁と航海安全を祈願しました。

今年も伊是名ビーチにおいては、青年の部・婦人の部・ウミンチュの部の各部門でハーリー競争が行われました。漁業組合伊是名支部VS仲田支部ではウミンチュ同士の白熱した戦いが繰り広げられ、観戦しようと多くの方が集まりました。ウミンチュの部では仲田支部が勝利を収めました。



応援に駆けつけた皆さん



終了後はヒージャー汁も振る舞われた



うみんちゅの部 仲田支部VS伊是名支部